

環境について考えよう

私たちに できること



地球温暖化のような世界的な問題から、身近なゴミ問題まで、環境問題は幅広く、私たちの日常生活に深くかかわっています。

環境月間の6月を良い契機として日常生活から見直しを考えてみましょう。

環境月間にあわせ、今年もみんなの住む町の美しいまちづくりをめざして、6月5日（日）に西伯地区を中心に町内一斉清掃に取り組みました。

当日は、時おり小雨の降る天気でしたが、早朝から子どもたちも一緒に汗を流しました。町内を回ってみると依然として空き缶、ペットボトルのポイ捨てが目につきました。

南部町の美しい自然環境を守っていくため、住みよい生活環境を作っていくため、環境に対する意識を高めましょう。



自分たちの住む町は、自分たちできれいにしよう。



現在、最も深刻な環境問題は、地球温暖化です。それには二酸化炭素の排出量が多大な影響を与えます。日本は世界で4番目の二酸化炭素排出国です。一人ひとりの小さな行動が、地球全体に影響を与えます。一人の百歩より百人の一步が大切です。ライフスタイルを見直し、まずは、身近なことで環境問題に取り組みましょう。

1 アイドリングストップ

アイドリングストップの効果は？

乗用車の場合10分間のストップでガソリン0.14リットルの節約。年間続けたら51.1リットル。これは118キログラムの二酸化炭素の削減です。

再始動で効率が悪くない？

再始動時の一瞬だけは消費量が増えますが、5秒以上ストップすれば効果あり。

買い物や待ち合わせで人を待っているとき、誰でも簡単にできる「アイドリングストップ」を心がけましょう。

2 家庭で出来ること

待機電力を減らそう

電化製品はスイッチを消してもコンセントをつければなしにしているだけで電力を消費します。使わないときはコンセントを抜くようにしましょう。

長時間の保温は×

ごはんを長時間保温すると電気を使うだけでなく、おいしさも半減。食べる分だけ炊きましょう。

衣服で調節

冷暖房は、風通しを考えたリ、衣服で調節し、設定温度を考えましょう。

水資源は大切に

水も貴重な環境資源です。歯磨きするときは出しっぱなしにしない。お風呂の残り湯は、洗濯、庭木、洗車に有効利用をしましょう。

マイバック持参

買い物に行くときは、マイバックを持って行き、レジ袋をもらわない。

環境マークあれこれ

リサイクル関係



ゴミ減量化のため古紙配合率を示すマーク



古紙の利用拡大し、紙のリサイクル促進のマーク



牛乳パック再利用商品のマーク



ペットボトルのリサイクル品を使用したマーク

エコマーク



幅広い商品を対象とし、環境への負担を配慮した商品を認定したマーク。ISO規格に則つた我が国唯一の環境ラベル制度です。



家電製品の省エネ性マーク



環境に配慮したパソコンマーク



オフィス機器の待機電源の省エネマーク

家電関係